



令和7年2月10日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

新丸山ダム建設事業の関連工事予定箇所における 自然由来重金属(フッ素)の検出について

新丸山ダム建設事業の関連工事である道路工事の予定箇所で、事前に地質調査を実施し、土壤溶出量調査をおこなったところ、土壤環境基準を上回る重金属が検出されたため「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、岐阜県へ調査結果を報告しました。これは人為的原因によるものではなく、自然状態の地層に元々含まれている重金属の可能性が高いと考えられます。

なお、今後は工事着手前において「中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会」での有識者からの意見等に基づき、観測及び処理方法等について適切に処置していく所存であり、岐阜県において定められている「環境基準に適合しない土砂等の埋立て等に関する要綱」に基づく協議を行う予定です。

1. 調査結果の概要

土壤溶出量調査

項目	調査	基準超過	調査結果	土壤環境基	最大基準
	検体数	検体数	(mg/L)	準 (mg/L)	超過倍率
フッ素	9	5	0.20~1.2	0.8 以下	1.5

2. 場 所 岐阜県瑞浪市日吉町深沢地内

3. 添付資料 別紙

4. 配布先 多治見市政記者クラブ

5. 解禁日 令和7年2月10日(月)

【問い合わせ先】

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

事業対策官 神村章治

工事課長 小池優

電話 0574-43-2780(代表)

地質調査実施箇所

